



文化から見る世界の諸相



フランスが抱える社会問題を考える ——サブカルチャーを手掛かりとして



講師：陣野 俊史（立教大学大学院 特任教授、作家）

4月7日（水）

19:00～20:30

戦後フランス社会の諸問題（総論）



栄光の「30年」、その後の移民政策、「サンパピエ」（滞在許可証ナシ）の大量発生、サルコジ大統領の「失言」、イエロー・ベスト運動などを通して、フランス社会の問題（郊外、貧困、格差）を概観します。

4月21日（水）

19:00～20:30

郊外問題を映画はどう描いてきたか（映画）



問題となっていた「郊外」の問題が初めて映画として捉えられたのは、1995年のマチュー・カソヴィッツ監督『憎しみ』。この映画の詳細を述べながら、この映画以後の作品（『バンリュウの兄弟』や『パリ20区 ぼくたちのクラス』など）も紹介し、この30年ほどの映画を駆け足で辿ります。

5月19日（水）

19:00～20:30

フランスの「暴動」事件と音楽の関係（音楽）



フランスでは定期的に暴動事件が起きてきました。「暴動」の原因を郊外に求める政治家たちとの矛先が、ポピュラー音楽に向けたことがあります（2005年）。フランスの音楽、なかでもラップ・ミュージックはどんなことを主張してきたのか、他の音楽ジャンルとの違いや融合についても話します。

6月2日（水）

19:00～20:30

いまだくすぶり続けるシャルリ・エブド事件（表現の自由）



2015年1月7日、風刺画を得意とする週刊紙「シャルリ・エブド」本社で事件が起こりました。十人余人々が命を落としたテロ事件は、その後、2020年に至るまでその余波が絶えたことはありません。フランス人の考える「表現の自由」の絶対性は、どこに由来しているか、歴史的な視点をもちながら考えます。

6月16日（水）

19:00～20:30

キリアン・ムバペはフランスの希望か？（サッカー）



2018年、ロシア・ワールドカップで優勝し、フランスは二度目のサッカーの世界チャンピオンに輝きました。この大会の最大の立役者はキリアン・ムバペという二十歳の若者でした。パリ郊外に育ち、アフリカにルーツを持つ青年は、フランス社会の「希望」として語られています。その姿は、1998年、地元開催で優勝したフランスの伝説、ジネディーヌ・ジダンも思わせませぬ。サッカーと移民社会の問題を取り上げます。

全5回（通し受講のみ） 料金 三鷹市民：2,500円 一般：3,000円 定員 24人（先着制） 会場 三鷹ネットワーク大学

お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

FAX 0422-40-0314 お問い合わせ電話 0422-40-0313

URL <https://www.mitaka-univ.org/>

申込期間▶3月9日（火）9:30～4月9日（金）20:00

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

| | | |
|-------|---------------------------------------|--------------|
| 文化・教養 | みたか地球市民講座 テーマ講座“文化から見る世界の諸相” | A215 0500 |
| | フランスが抱える社会問題を考える ——サブカルチャーを手掛かりとして | |

| 講座趣旨 |
|--|
| <p>「みたか地球市民講座」とは</p> <p>(1) 「不安な時代」を生き抜くための学び 終身雇用の崩壊、新型コロナウイルス感染症の流行など、先行きの見えない「不安な時代」にわたしたちは生きています。こうした時代にこそ、学びを通して確かな視座を構築していきましょう。</p> <p>(2) 地域から世界を考える 地域から国全体や世界を考える、ボトムアップ型の講座です。三鷹という地域にいきなりを下ろし、そこから地域や世界を見渡し、一緒にじっくり考えていきましょう。</p> <p>(3) 地域の“大学”としての新たな取り組み 三鷹ネットワーク大学は地域性を生かし、コミュニティを育み、学びを創出する、地域の“大学”です。「みたか地球市民講座」を通して、みなさんと協働して新たな学びを創っていきましょう。</p> <p>テーマ講座の今年度のテーマは「文化から見る世界の諸相」です。</p> |

| 講座開催概要 | |
|--------|--|
| 日程 | 令和3年4月7日、21日、5月19日、6月2日、16日いずれも水曜日(全5回) |
| 時間 | 午後7時～8時30分 |
| 定員 | 24人(先着制) |
| 回数 | 5回(通し受講) |
| 受講料 | 一般3,000円、市民2,500円、 |
| 教材 | レジュメ資料ほか |
| 難易度 | ★★★ |
| 会場 | 三鷹ネットワーク大学 |
| 申し込み | <input type="checkbox"/> WEB <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> 窓口 申込期間:3月9日(火)午前9時30分～4月6日(火)午後8時 |

| フランスが抱える社会問題を考える—サブカルチャーを手掛かりとして | |
|----------------------------------|---|
| 第1回 4月7日 | 戦後フランス社会の諸問題（総論） 栄光の「30年」、その後の移民政策、「サンパピエ」（滞在許可証ナシ）の大量発生、サルコジ大統領の「失言」、イエロー・ベスト運動などを通して、フランス社会の問題（郊外、貧困、格差）を概観します。 |
| 第2回 4月21日 | 郊外問題を映画はどう描いてきたか（映画） 問題となっていた「郊外」の問題が初めて映画として捉えられたのは、1995年のマチュール・カンヴィッツ監督『憎しみ』。この映画の詳細を述べながら、この映画以後の作品（『パンリュウの兄弟』や『パリ20区 ぼくたちのクラス』など）も紹介し、この30年ほどの映画を駆け足で辿ります。 |
| 第3回 5月19日 | フランスの「暴動」事件と音楽の関係（音楽） フランスでは定期的に暴動事件が起きてきました。「暴動」の原因を郊外に求める政治家たちとの矛先が、ポピュラー音楽に向けたことがあります（2005年）。フランスの音楽、なかでもラップ・ミュージックはどんなことを主張してきたのか、他の音楽ジャンルとの違いや融合についても話します。 |
| 第4回 6月2日 | いまだくすぶり続けるシャルリ・エブド事件（表現の自由） 2015年1月7日、風刺画を得意とする週刊紙「シャルリ・エブド」本社で事件が起きました。十人余りの人々が命を落としたテロ事件は、その後、2020年に至るまでその余波が絶えたことはありません。フランス人の考える「表現の自由」の絶対性は、どこに由来しているか、歴史的な視点をもちながら考えます。 |
| 第5回 6月16日 | キリアン・ムバペはフランスの希望か？（サッカー） 2018年、ロシア・ワールドカップで優勝し、フランスは二度目のサッカーの世界チャンピオンに輝きました。この大会の最大の立役者はキリアン・ムバペという二十歳の若者でした。パリ郊外に育ち、アフリカにルーツを持つ青年は、フランス社会の「希望」として語られています。その姿は、1998年、地元開催で優勝したフランスの伝説、ジネディーヌ・ジダンも思わせます。サッカーと移民社会の問題を取り上げます。 |

| 講師紹介（敬称略） |
|---|
| 陣野 俊史（じんの としひみ）立教大学大学院文学研究科比較文明学専攻特任教授、作家 1961年、長崎市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。明治大学大学院フランス文学科博士課程満期退学。現在、立教大学大学院特任教授。文芸批評家、作家、フランス語圏文学研究者。 主な著書に『じゃがたら』『洪さ知らズ』『テロルの伝説——桐山襲烈伝』（以上、河出書房新社）、『戦争へ、文学へ——「その後」の戦争小説論』（集英社）、『サッカーと人種差別』（文春新書）など。 |

※三鷹ネットワーク大学では、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための対策を実施しています。詳しくは三鷹ネットワーク大学のウェブサイトをご確認ください。

A05

みたか地球市民講座 テーマ講座 “文化から見る世界の諸相”
フランスが抱える社会問題を考える
 ——サブカルチャーを手掛かりとして——

申込用紙

| | | | | | | |
|-----------|---------------------------------------|-----|------|---|---|---|
| 受講者 番号 | Eから始まる数字6ケタをご記入ください。 E _ _ _ _ _ _ | 申込日 | 令和 | 年 | 月 | 日 |
| | フリガナ | | 電話番号 | | | |
| 名前 | | | | | | |
| | | | | | | |

※申込欄に○をご記入ください

| 申込欄 | 講座タイトル・講師・講座日程 | 受講料 | | 領収印 |
|-----|--|-----|--------|-------|
| | みたか地球市民講座 テーマ講座 “文化から見る世界の諸相” 「フランスが抱える社会問題を考える ——サブカルチャーを手掛かりとして」 講師：陣野 俊史（立教大学大学院特任教授、作家） 令和3年4月12日、21日、5月19日、6月2日、 16日 いずれも水曜日（全5回）午後7時～8時30分 [A2150500] | 一般 | 3,000円 | 文化・教養 |
| | | 市民 | 2,500円 | |

この講座をどこでお知りになりましたか？（該当するものに○を1つだけご記入ください）

- | | | |
|---------------------|----------------|----------------------|
| 1. 三鷹ネットワーク大学ホームページ | 5. 学内ポスター・チラシ | 9. その他（ ） |
| 2. ダイレクトメール | 6. 講師・教職員よりの紹介 | |
| 3. 三鷹市広報 | 7. 友人・知人よりの紹介 | |
| 4. ポスター / チラシ | 8. 新聞記事等 | |

※ファックスでお送りいただく場合には、着信確認のためのお電話をお願いいたします。

電話：0422（40）0313 ファックス：0422（40）0314

[郵送での申込]〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル 3階 三鷹ネットワーク大学事務局

【ご受講について】

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、下記のとおり対応します。

●お申し込みについて

お申し込みは講座前日（前開館日）の20時（日曜日は17時）で締め切ります。当日のお申し込みは受け付けません。（一部の講座は除く。）

●受講料のお支払いについて

講座にお申し込みの方には、受講料のお支払い方法についてご連絡します。
教室開催の講座は、当日受け付けの際にお支払いください。

●受講のキャンセルについて

- 講座申し込み後にお客様の都合により受講をキャンセルする場合は、至急事務局まで電話でご連絡ください。
- 一度申し込んだ講座を別の講座に変更することはできません。申し込み済みの講座をキャンセルしてから、再度希望の講座にお申し込みください。ただし、講座申し込み期間内のみ受け付けます。

●受講資格について

受講は原則としてお申し込みされた本人のみとさせていただきます。